特定外来生物

サクラやウメ、モモを
食い荒らし枯らす！

クビアカツヤカミキリ 警戒中!!

5月末～8月頃
成虫発生！

木クズを見つけたら
要注意!!



フラス
（幼虫のフン・木クズ）



木の内部を食い荒らし枯らす！

主にサクラやウメ、モモなどのバラ科の樹木に付き、幼虫が木を内部から食い荒らします。木からは大量のフラス（幼虫のフンと木クズが混ざったもの）が排出され、侵入された木は弱り、枯れてしまいます。

成虫を見つけたら、
踏み潰すなどして駆除を！

クビアカツヤカミキリの侵入地域（2025.12）

もともと日本にいなかった外来のカミキリムシですが、2011年に埼玉県で確認されて以来、急速に分布を拡大しています。

京都府では2024年7月に初めて確認されました

◎これまでに被害を確認した地域

京都市、福知山市、綾部市、向日市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、精華町

防除のご協力をお願いします。
みなさまの力で京都のサクラ等を守りましょう！

発行：京都府　自然環境保全課（2026.2）

防除対策

状況に応じて、組み合せて対策することが大切です！

(1) ネット巻き・捕殺

○羽化した成虫の飛散防止や新たな産卵の防止のため、成虫発生時期(5～8月)には被害木にネットを巻き付けます。

○ネットは、目合い4mm以下の強度のある防風ネット等を使用します。

○ネット巻きの方法

①約2mの高さで、主枝にガンタッカー等で固定し、ひもやテープでしっかりと縛る。

②ネットの噛み切りや、産卵を防止するために、ネットと樹幹が密着しないよう、やや隙間を持たせて巻く。

③ひこばえや雑草を抑制するために、防草シートを敷き、ペグ等で防草シートとネットを地面にしっかり固定する。

・ネットを巻いた後も定期的（2～3日）に見回り、成虫を見つけた場合は捕殺する。



○捕殺の方法

①フラスが出ている穴（排ふん孔）周辺の樹皮を剥ぎ、針金やドライバー等で幼虫を刺殺または掘り取り、捕殺します。

②幼虫を捕殺した後も、新たなフラスの排出がないか、定期的に見回ります。

(2) 薬剤処理（処理後は看板や張り紙等で周知してください）

※農薬は必ず、最新の登録情報を確認の上、使用基準を遵守して使用してください。

【確認方法】
⇒ 農薬登録情報提供システム(https://pesticide.maff.go.jp/) で検索！

ア　農薬を散布する（薬剤散布）

○成虫を対象として、農薬を散布する方法です。

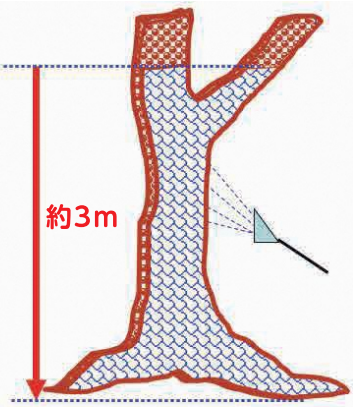
・根元から約3mの高さまで、樹幹や枝にかかるように丁寧に薬剤を散布する。
ただし、3m以上の高さにフラスがある場合は、その高さまで散布すること。

・5月から8月までの期間に、10～14日間隔で2回以上散布する。

・薬剤によっては予防効果も期待できる。



アセタミプリド　メタフルミゾン
ネオニコチノイド系



イ　排ふん孔に薬剤を注入する（エアゾール剤処理）

○排ふん孔から、樹木内にいる幼虫へ直接薬剤を吹きかけて殺虫する方法です。

・竹ひごや千枚通しで排ふん孔に詰まったフラスを取り除く。

・排ふん孔にノズルを差し込み、薬剤があふれるまで注入する。

・地面も含め、周辺のフラスを取り除き、１週間後に新たなフラス排出の有無を確認する。

・新たなフラスの排出がある場合は、再度処理を行う。



（左）エアゾール薬剤
（右上）排ふん孔周辺のフラスを除去
（右下）排ふん孔から薬剤を注入

ウ　樹幹に孔を空けて薬剤を注入する（樹幹注入）

○樹幹に薬剤を打ち込み、樹木全体に薬剤を行き渡らせて、樹木内にいる幼虫を殺虫する方法です。

・地際付近の樹幹にドリルで孔（注入孔）を空ける。この時、枯死部は避け、必ず生きている部分に孔を空けること。
また、根の部分に幼虫がいる場合があるため、根にも孔を空ける。

・注入孔に薬液ボトルまたは注入補助器をしっかり挿し、薬液を注入する。

・薬液が樹木内に吸収されたことを確認し、薬液ボトルまたは注入補助器を外した後、専用のパテで注入孔を埋める。



① 株元の周囲を測定
② 10～15cm 間隔で薬剤を配置
③ 直径 6mm 程度の穴を 50 度の角度で6～7cm の深さにドリルで開ける
④ 薬剤を差込む。30 分～２時間で終了

（3）被害木の伐採・処分

○被害木の伐採は、確実に幼虫を駆除できるため、被害拡散防止として最も有効な対策です。

○伐採は、成虫の脱出の恐れのない10月～4月下旬に実施します。

○伐採した被害木は、枯れても成虫が脱出するため、放置せず、4月下旬までに焼却または粉砕処分してください。

○焼却、搬出先は、市町村の担当課と相談して決定してください。

○速やかな処分が難しい場合や、やむを得ず５月～９月に実施する場合は、ネットやシート等で隙間の無いよう多重巻きで密閉し、保管、搬出してください。

○幼虫は根部にも食入することがあるため、伐採後の切り株も掘り上げ（抜根）し、処分してください。
抜根が難しい場合は、根を防草シート等で完全に覆ってください。覆う前に切り株に覆土するとより効果があります。

影響

もしクビアカツヤカミキリの被害が拡大したら…

⚠ お寺や神社の**サクラやウメが枯れてしまう！**

⚠ **桜の名所がなくなる！**

⚠ ウメやモモなどの**果樹が作れなくなる！** かも…



＜樹木内の幼虫＞

被害を防ぐためには 早期発見が重要！

クビアカツヤカミキリの幼虫は
およそ**2年間**も木の中にいる

4月～10月頃 確認がしやすい！

探す手がかりは **フラス**（幼虫のフンと木クズが混ざったもの）

＜クビアカツヤカミキリの一生＞

初夏～盛夏に卵を木に産みつける

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目							卵	幼虫				
2年目	幼虫					蛹室をつくる				幼虫（蛹室内）		
3年目	幼虫（蛹室内）					蛹→成虫	脱出	成虫				

フラスの特徴

よく見られるフラスの様子

2~5mm ほどの太さで、ひき肉のように連なって出てくる



被害の進んだサクラ

被害が激しくなると、木の地際に大量のフラスがたまってくる



フラスの拡大写真

拡大すると、木くずはスプーンでくりぬいたような形をしている



もしも発見したら…

成虫の捕殺や被害木に防風ネットを巻き付けるなどの防除のご協力をお願いします。

参考文献：国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所「クビアカツヤカミキリの防除法」

- ☐ 首の赤いカミキリムシを見つけた
- ☐ サクラやウメ、モモから木クズが大量に出ている

すぐにお住まいの市町村か京都府までご連絡ください！

詳細はこちら → https://www.pref.kyoto.jp/gairai/kubiakatsuyakamikiri.html

市町村名	担当課	電話番号
京都市	環境政策局環境企画部環境保全創造課	075-222-3951
福知山市	産業部エネルギー・環境戦略課	0773-48-9554
舞鶴市	市民環境部生活環境課	0773-66-1064
綾部市	市民環境部環境政策課	0773-42-1489
宇治市	人権環境部環境企画課	0774-20-8726
宮津市	市民環境部市民環境課	0772-45-1617
亀岡市	環境先進都市推進部環境政策課	0771-25-5023
城陽市	市民環境部環境課（農地以外）	0774-56-4061
	まちづくり活性部農政課（農地）	0774-56-4005
向日市	環境産業部衛生環境課	075-874-2189

市町村名	担当課	電話番号
長岡京市	環境経済部環境政策室	075-955-9685
八幡市	市民生活部環境業務課	075-983-2798
京田辺市	経済環境部環境課	0774-64-1366
京丹後市	市民環境部生活環境課	0772-69-0240
南丹市	市民部環境課	0771-68-0085
木津川市	市民環境部環境課	0774-75-1215
大山崎町	経済環境課	075-956-2101
久御山町	事業環境部産業・環境政策課	075-631-9964 0774-45-3914
井手町	産業環境課	0774-82-6168
宇治田原町	建設環境課	0774-88-6639

市町村名	担当課	電話番号
笠置町	税住民課	0743-95-2302
和束町	農村振興課	0774-78-3008
精華町	健康福祉環境部環境推進課	0774-95-1925
南山城村	産業観光課	0743-93-0105
京丹波町	健康福祉部住民課	0771-82-3803
伊根町	住民生活課	0772-32-0503
与謝野町	農林環境課	0772-43-9023
京都府	総合政策環境部自然環境保全課	075-414-4706

WEBでのご連絡はこちら →